

# 石川県七尾美術館だより

平成24年4月1日発行  
編集・発行 石川県七尾美術館

## 第69号（春号）



ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM



能登の美術 ～昔、そして今～ より

「草花図屏風」

伊年印

江戸時代（17世紀）

縦128.2 横337.2 (cm)

個人蔵

# 展覧会紹介

平成24年4月21日(土)～

7月1日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

## ◆第1展室

### 池田コレクション・工芸を中心に

池田コレクション・工芸を中心に  
能登の美術 ～昔、そして今～

4月21日(土)～6月3日(日)

〔会期中無休〕

現在、当館には所蔵作品約600点と、寄託としてお預かりしている作品が70点の、合計約670点が収蔵されています。

所蔵品のうち、約3分の1にあたる204点が「池田コレクション」で、同コレクションは名実ともに代表格です。また、他の所蔵品および寄託品は「能登ゆかりの作品」をテーマに集められた作品が、大部分を占めます。

それらの貴重な作品を順次展示し、できるだけ多くの方々に鑑賞していただくことが、当館開館以来の大きな目的です。

そこで本展では、昨年の「春季展」に引き続き、収蔵品の2大特徴である「池田コレクション」「能登ゆかりの作品」をテーマとして、所蔵品・寄託品に一部借用作品を加え、各ジャンルの作品や史料を幅広く紹介します。



〔黄瀬戸六角盃〕  
(池田コレクション)



〔夕暉〕 上田瑠草



〔ノンコウ赤茶碗 鋭小判〕  
樂 道入(池田コレクション)



〔秋草時給銚子〕(池田コレクション)

### ◆「池田コレクション」とは◆

「池田コレクション」の名称は、七尾市出身の実業家である池田文夫氏(1907～87)に由来しています。

池田氏は、岐阜県大垣市を拠点に活躍した経済人であった一方、美術品をこよなく愛し、その蒐集に生涯を費やした人でもありました。長年にわたる熱意によって求められた作品は、日本や東洋美術から西洋美術までの幅広さに至り、古今の絵画・工芸など、各ジャンルを網羅しています。

氏の没後の昭和63年、かねてより七尾市から蒐集品を寄附して欲しい、という要望が出ていたことから、ご遺族のご厚意によって、蒐集品のうち計125点の作品が七尾市に寄附されました。

作品収蔵施設を有していなかった七尾市では、これを機に美術館建設を決定、平成7年の当館開館となりました。つまり、当館建設のきっかけであると同時に所蔵品第1号という、極めて重要なコレクションが「池田コレクション」なのです。

### ◆「池田コレクション」の工芸作品◆

「池田コレクション」は、「茶道美術品を中心とした日本美術」という特色を持っています。コレクションを構成する作品は多岐にわたりますが、中でも工芸の分野が充実しており、特に注目されるのが「美濃焼」と「根来」です。

池田氏ゆかりの岐阜県美濃地方のやきものである「美濃焼」は、「黄瀬戸」「瀬戸黒」「志野」「織部」に大別されます。桃山時代から江戸時代前期にかけて同地で盛んに制作され、桃山文化の一翼を担いました。抽象文様を多用した斬新な意匠は、まさに自由闊達な時代の風潮を見事に写しとっているといえ、現代の我々がみても目をみはるものがあります。

そして「根来」。昨年寄附された「池田コレクション」の新顔です。紀伊国(和歌山県)の根来寺が名の由来とされる漆器で、仏具や日用品を中心に、中世期に盛んに制作されたようです。洗練されたシンプルな造形と、朱と黒の漆による枯れた趣きが、何とも深い味わいを感じさせます。

この他にも、「楽焼」や「九谷焼」、現代作家による各作品など、多彩な顔ぶれとなっている「池田コレクション」の工芸作品。本展では「美濃焼」の「志野」「織部」や、「根来」をはじめとした、様々な作品計30点を展示いたします。

池田文夫氏の「こころ」を感じさせる珠玉の作品の数々を、ぜひともご鑑賞ください。



〔織部柳文筒向附〕(池田コレクション)



〔根来湯桶〕(池田コレクション)

## 能登の美術 昔、そして今

現時点で石川県能登地方に建つ唯一の総合美術館として、当館では開館以来「能登地方にゆかりのある美術工芸の作品収集および展示」を、大きなテーマとして活動してきました。

「能登ゆかりの美術工芸品」と一言でいっても実に幅広く、時代別やジャンル別、作者別などで膨大な数・内容となります。それらには、はるか昔より大切に受け継がれてきた何百年来の作品がある一方で、今この瞬間に誕生したばかりの、新しい作品もあることでしょう。

本展では「古美術編」「現代美術編」の2本立てで、当館所蔵品および寄託品を中心に作品を展示。「古美術編」では絵画や典籍などを、「現代美術編」では絵画と彫刻・工芸を、あわせて50点紹介いたします。



県文「十六羅漢図」(部分) 輪島市・總持寺祖院蔵

### ◆古美術編◆

昨今、「能登を代表する芸術家」のナンバ1といえ、やはり長谷川等伯(1539~1610)でしょう。現在も何かと話題豊富で、すっかり人気者となった等伯。能登の美術を語るうえでは、絶対に欠かすことができない存在です。今回は等伯若年期、能登時代の制作と考えられている「善女龍王図」を展示。そして等伯の一族とされる長谷川等誉(？~1636)の仏画に、

近年確認され今回が初展示の、長谷川派絵師が制作したと考えられる「涅槃図」(志賀町・道興寺蔵)を加え、計5点の等伯および長谷川派作品を紹介いたします。また、参考作品として「複製松林図屏風」も展示します。



県文「善女龍王図」長谷川信春(等伯)

そして絵画としては、鎌倉時代以来の歴史を誇る、能登の曹洞宗名刹である總持寺祖院(輪島市)に伝来する「十六羅漢図」や、加賀百万石の祖・前田利家が両親の菩提寺として七尾に建立した、長齡寺が所蔵する「前田利春画像」(国指定重要文化財)など前田一族の肖像画、それから俵屋宗雪(生没年不詳)一派の制作と考えられる、「伊年」印が捺された優美な鑑賞画「草花図屏風」(個人蔵)など、能登地方の由緒ある寺社や旧家に古くより伝来する名品を展示します。

さらに、鎌倉時代刺繍仏の代表作として著名な、西念寺(七尾市)所蔵の工芸作品「刺繍阿弥陀三尊像」(国指定重要文化財)や、中世に能登を統治した大名・能登畠山氏の栄華を現代に伝える「賦何船連歌」(七尾市蔵)などの典籍史料も、あわせて展示。「古美術編」では、貴重な文化財や関連作品など、計18点を紹介いたします。



県文「前田利春画像」七尾市・長齡寺蔵

### ◆現代美術編◆

長い時を経て、多くの作家たちにより脈々と受け継がれる美術工芸。先人が築いた伝統を継承する作家、そしてまったく新しい表現を創造する作家など、その形は様々です。能登においても数多くのゆかりの作家たちが、それぞれの信条に基づき制作活動を繰り広げ、現在に至っています。

今回の展示では、能登出身・在住、能登が制作のテーマ、偶然に能登と関わるようになったなど、何らかの形で能登と繋がりのある作家たち31人の作品を、日本画・洋画・彫刻・工芸の4ジャンルで計32点を紹介いたします。

日本画では上田桂草(1904~85)や水道秋聖(1921~99)、洋画では堀場良夫(1920~2006)や白尾勇次(1927~)、彫刻では田中太郎(1911~92)、末政哲夫(1932~)、そして工芸は番浦省吾(1901~82)などが主な出品作家です。

個性あふれる現代作家たちによるバラエティ豊かな作品を、ぜひともご堪能ください。



「黎明 '74」 勝本富士雄



「早春風」 谷野吉冬



「緋の舞」 末政哲夫

### ◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	300円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	350円		

# 第68回現代美術展 七尾展

6月8日(金)～7月1日(日)

## ◆第1・第2・第3展示室

工芸王国石川に、再び嬉しい知らせが届きました。一昨年新たに2名の重要無形文化財保持者(人間国宝)と1名の日本芸術院会員が誕生したことは皆さんの記憶に新しいことと思います。その熱が冷めぬ中、昨年は、大樋長左衛門氏(金沢市在住)に文化勲章が贈られました。

石川の美術界はこのように工芸界を代表する大家たちに牽引され、相互に刺激を受けながら発展してきました。

毎年春に開催されている「現代美術展」では文化勲章受章者、人間国宝、日本芸術院会員を筆頭とする作家たちの新作が一堂に展示されます。主に県内の作家や美術愛好家たちが出品する公募展で、戦後の混乱のなか昭和20年5月に始まり、今回で68回目を迎えます。その規模は県下最大規模を誇り、現在、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で実施されています。所属会派を超えて出品されており、現在の石川県における美術の流れを展観する絶好の機会といえます。

今年3月31日(土)から4月17日(火)まで、石川県立美術館(日本画・工芸・書)と金沢21世紀美術館(洋画・彫刻・写真)の2会場で開催されます。展示作品は委嘱出品と一般公募から構成されており、委嘱出品の部では、出品委嘱作家(石川県美術文化協会会員)の作品が展示されます。一方、一般出品の部は、長年にわたり制作活動を続けている作家から新進気鋭の作家まで幅広い層からの応募があり、入選率5割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、展示の総点数は千点にもおよびます。

金沢展の後、県内を巡回しますが、巡回展は開催地ごとに地域の文化や産業をも反映した地域色豊かな展示内容となります。

七尾展は昭和21年6月の第2回展が開催された後は、当美術館が開館するまで中断されていましたが、平成7年4月の開館を機に、毎年6月に開催し、今年で18回目を迎えます。「第68回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品、能登地区(宝達志水町以北)在住者の作品を選抜、紹介します。今年も能登地区からも、新たに委嘱作家が誕生しています。身近な作家さんの作品も多数展示されますので、お楽しみに。

七尾展は巡回展の最後となりますので、お見逃しのないようにご注意ください。



昨年の展示室の様子

会期中、第3展示室の1室では「池田コレクション」を展示します。観覧料は「現代美術展」と共通料金です。

### ◆観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	3500円	4000円
		3000円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

### 好評開催中

## ハンス・フィッシャーの世界展

4月15日(日)まで



2/24(金)にスタートした展覧会ですが、皆様ご覧いただけただろうか。只今、展示室はフィッシャーの描いた動物たちで賑やかな様子となっています。「ブレイメンのおながくたい」の展示室では、泥棒の家が再現され、ちょっとしたサプライズもありますよ。

さて、この展覧会、フィッシャーが我が子に手描き絵本をプレゼントする、子煩悩な父親だったことにちなんで「おとうさん、コーヒーをどうぞ」という、お子さん連れのお父さんに「コーヒーを1杯プレゼントする企画を実施しています。受付で「私は」イクメンです」というキーワードをおっしゃっていただくのですが、これまでのところ9割方、お母さんが「私の夫は」イクメンです!!」と。中には勇気を振り絞り、ご自身でおっしゃるお父さんも。パチパチパチ…。

また、3/10(土)11(日)24(土)25(日)に開催した、ぴっちのともだちを作る「ともだちぬりえ」では、リゼッテおばあさんの庭がカラフルに彩られた動物たちで埋まっています。展覧会は4/15(日)まで無休で開催しています。



展示室の様子



「ともだちぬりえ」コーナー

右イラスト「こねこのぴっち」より  
小さな絵本美術館蔵

# 平成24年度 友の会カレンダー

2012 4月

●美術館だより(69号)春号発行。

7月

●美術館だより(70号)夏号発行。

8月

○8月10日(金)「長谷川等伯展」開会式へ友の会会員をご招待！  
式典終了後には展示会の鑑賞(無料)もできます。

9月

◆9月2日(日)「長谷川等伯展」ギャラリートークを開催。  
友の会会員は先行予約で受け付けします。(※)

10月

●美術館だより(71号)秋号発行。  
○「第13回友の会鑑賞の旅」開催予定。  
貸切バスで長野県松本市へ、国宝・松本城や美術館などを見学。紅葉も楽しめます！

11月

○11月9日(金)「2012イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式へ友の会会員をご招待！  
式典終了後には展示会の鑑賞(無料)もできます。

2013 1月

●美術館だより(72号)冬号発行。  
◇友の会会員対象「美術講座～やさしい篆刻～」開催予定。(※)  
講師に篆刻・書家の大場濯川先生をお迎えし、印を作成します。

注：(※)印の催しは会員本人と同伴者2名まで参加できます

## 新・特典

喫茶室メニュー  
全て10% OFF!!  
レジにて会員証を  
ご提示ください



## 友の会「美術講座」開催報告 七尾de再発見！〜一本杉編〜

3月18日、少し肌寒い曇り空の下、参加者11名が御祓公民館前に集合。はじめに、登録有形文化財で、杉森久英(作家)、勝本富士雄(画家)ゆかりの勝本邸へ。同邸を管理されている前田節子氏が囲炉裏端で実兄・富士雄氏の思い出を交え、七尾の古き良き時代のお話しをしてくださいました。

次は、ぬのや仏壇店で箔押し体験。店主の布辰巳氏と奥様のご指導で、超極薄の金箔の扱いに苦戦しながらも、皆さん「世界で一つだけのマイストラップ」に大満足の様子。

昼食は、昆布海産物処しら井で予約制昆布料理を。お食事はもちろんのこと、海藻おしばアート鑑賞、女将の白井洋子氏による一本杉としら井の歴史や海藻採取と環境保全についてのお話：どれも素晴らしい、心満たされました。

最後は、高澤ろうそく店。ろうそくの灯りが心地よいお座敷で、店主の高澤良英氏より香木等の聞き体験も交えながら、香りの原材料、製法、流通に関すること、七尾と香りの関係など様々なお話しをしていただきました。

店主の方々に共通する「一本杉通りの誇り」と「おもてなしの心」に七尾の魅力を再発見した一日でした。皆様どうもありがとうございました。



高澤ろうそく店 ☎53-0406



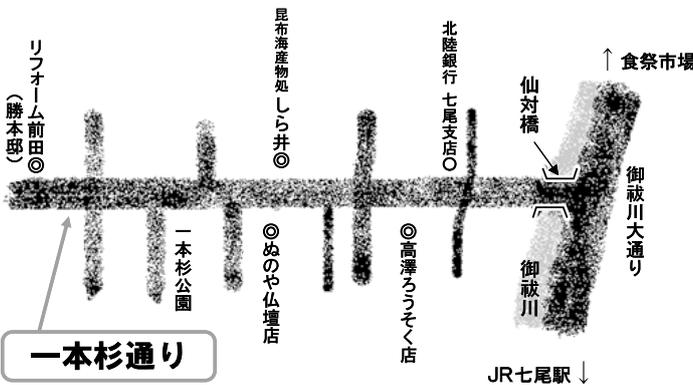
しら井 ☎53-0589



ぬのや仏壇店 ☎52-0756



勝本邸 ☎52-2473



皆さんもぜひ！  
春の「一本杉通り」へどうぞ♪

### ●花嫁のれん展●

4月29日(日)《昭和の日》

～5月13日(日)《母の日》

期間中、通りの商家・民家の屋内に百数十枚もの花嫁のれんが展示されます。

### ●花嫁道中●

4月29日(日) ※荒天時中止

晴れの日を迎える新郎新婦が通りを練り歩きます。

## アートホール催し物案内

### ファミリーコンサート

無入場

4月15日(日)

開演 午後1時

大正琴・三味線・ピアノによる合同コンサートです。それぞれの持ち味を生かして演奏をしたいと思えます。オープニングはチェロ、生け花、大正琴のコラボを予定しています。

主催 琴絵会・洋三会

連絡先 細川一絵

☎0767(84) 1785

### 平成24年度 等伯会講演会・定期総会

無入場

4月21日(土)

開演 午前10時

講演会 「等伯と長谷川派最新情報を中心に」

総会 平成23年度の報告と平成24年度の事業計画・予算等について

主催・連絡先 等伯会(石川県七尾美術館)

☎0767(53) 1500

### つながって、日本のそらへ

4月22日(日)

開演 午後4時

能登の里山里海の原風景の美しさを改めて皆さんに知っていただきたく、ポエムの朗読とコンサートを開催します。終演後は第2部として、和倉温泉のと楽にてデイナー&ライブステージがあります。

入場料 1万円(第1部・第2部共通)

主催 元気に頑張る能登のおっちゃん

連絡先 赤いかっぱ着隊 田中

☎0767(52) 5028

### 中能登奏友会

ユーフォニアム・テューバ

アンサンブルコンサートin2012春

無入場

4月30日(月・休)

開演 午後2時30分

今回は私達、中能登奏友会が結成してから初めてのコンサート開催となります。中・低音金管楽器のユーフォニアム・テューバが作り出す、独特のサウンドやハーモニーをお楽しみください!!

主催 中能登奏友会

連絡先 荒川裕介

☎090-376815608

### 第9回石川県がん診療連携協議会

県民公開講座

無入場

6月10日(日)

開演 午後1時

「かしこいがん医療の受け方」と題して県民の皆様へ適切ながん医療を受けていただくための講演会を行います。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

主催 石川県がん診療連携協議会

連絡先 金沢大学附属病院がん高度先進治療センター

☎076-26512935

### ヤマハジュニアエレクトーンフェスティバル&エレクトーンステージ2012ミヤコ音楽堂大会

6月17日(日)

開演予定 午後1時30分

無入場

小学生から高校生までのエレクトーンを学ぶ子どもたちが出場するヤマハエレクトーンイベントです。クラシック曲からポップス曲をソロやアンサンブルで演奏します。

主催・連絡先 ミヤコ音楽堂

☎0767(53) 0001

## 平成24年度 市民ギャラリー&アートホールの利用について

### 只今、利用申込受付中

当館では個展、グループ展、演奏会などの幅広い芸術活動の発表の場として市民ギャラリーとアートホールの貸室を行っています。当館主催事業等で利用できない期間もありますので、お問い合わせください。

【利用可能期間は当館ホームページでも確認できます】

#### 《市民ギャラリー》

展示面積(全5室+通路)  
最大天井高  
楽屋

27㎡/1室  
3.5m  
2室

#### 《アートホール》

ステージ幅  
客席数(固定+可動)

8.5m  
240席

### 等伯コーナー

#### 等伯大人気!

#### 全国等伯作品展示情報

##### ◆本法寺

☎075-44117997

《春季特別寺宝展 長谷川等伯大涅槃図開帳》

##### 「仏涅槃図」1幅

本法寺蔵(京都市)

会期 3月15日(木)～4月15日(日)

##### ◆東京国立博物館

ハローダイヤル

☎03-5777-8600

《特別展 ポストン美術館 日本美術の至宝》

「龍虎図屏風」6曲1双

ポストン美術館蔵(アメリカ)

会期 3月20日(火・祝)～6月10日(日)

※この後、名古屋ポストン美術館(前期のみ)、九州国立博物館、大阪市立美術館を巡回。

##### ◆出光美術館 門司別館

☎093-3332-0251

《利休と桃山茶陶》

「竹鶴図屏風」6曲1双

「松に鴉・柳に白鷺図屏風」6曲1双

2点共、出光美術館蔵

会期 6月8日(金)～8月26日(日)

※会期中、展示替えがあります。

##### ◆石川県立美術館

☎076-2331-7580

《特別陳列 長谷川等伯とその周辺》

「十六羅漢図」8幅 霊泉寺蔵(七尾市)

会期 6月14日(木)～7月16日(月・祝)

休館日、開館時間、観覧料などの詳細については、各会場にお問い合わせください。

## 平成23年度新収蔵品紹介

平成23年度に新しく当美術館所蔵となった作品を紹介します。

(3/18現在)

### ① 日本画「涅槃図」 長谷川等誓

江戸時代初期(17世紀) 制作

※の共栄信用金庫様より寄附

### ② 日本画「ひととき」 百々俊雅

昭和58年(1983) 制作

第35回京展 中日新聞社賞

※②～⑧ 百々俊雅氏より寄附

### ③ 日本画「ボーカールフェース」 百々俊雅

昭和59年(1984) 制作

第16回改組日展

### ④ 日本画「少女」 百々俊雅

昭和61年(1986) 制作

第18回改組日展

### ⑤ 日本画「映」 百々俊雅

平成4年(1992) 制作

第27回日春展 日春賞

### ⑥ 日本画「刻」 百々俊雅

平成5年(1993) 制作

第28回日春展

### ⑦ 日本画「風渡る」 百々俊雅

平成6年(1994) 制作

第26回改組日展

### ⑧ 日本画「招く日」 百々俊雅

平成10年(1998) 制作

第30回改組日展

### ⑨ 工芸 「天目水指」 青木龍山

昭和58年(1983) 頃制作

※原 春枝氏より寄附

### ⑩ 写真 「妖流」 荒牧良一

平成22年(2010) 制作

第84回国展国画賞

※荒牧良一氏より寄附



⑦



④



①



⑧



⑩



⑨

## 公益財団法人へ

### 移行のお知らせ

財団法人七尾美術館は、石川県七尾美術館の開館の前年、平成6年に設立。以来、今日まで館の管理運営を行って参りました。

この度、「民による公益の増進」を目的に公益法人法が改正されたことに伴い公益の認定を受け、平成24年4月1日に公益財団法人に移行いたしました。

これまで以上に芸術文化活動の振興発展に寄与することを目的とし、より公益性の高い事業展開を実施して参りますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

### 【公益財団法人七尾美術館】

～目的～

「美術館の管理運営事業を受託し、効率的で開かれた運営を行い、芸術文化活動の振興発展に寄与すること」

～事業～

- 1、美術館の管理運営
- 2、美術展の企画及び実施
- 3、美術品の収集及び保管
- 4、美術に関する講習会、講演会等の実施
- 5、美術に関する調査及び研究
- 6、美術に関する刊行物の発行
- 7、その他、この法人の目的を達成するために必要な事業



# これからの展覧会予定



## ◆第1・2 展示室

### (仮) 池田文夫氏の情熱

～絵画・彫刻・工芸～「池田コレクション」の名品～

平成24年7月7日(土)～8月5日(日)

当館所蔵品の中核「池田コレクション」は、作品を蒐集した池田文夫氏の美術全般への深い造詣が反映された、幅広い内容となっています。本展では、コレクション計204点より絵画や彫刻、工芸などの多彩な作品を紹介します。



「根来飯器」(池田コレクション)

## ◆第1・2・3 展示室

### 長谷川等伯展 ～圓徳院の「山水図襖」を中心に～

平成24年8月11日(土)～9月17日(月・祝) 会期中無休

当館毎年恒例のシリーズ展、17回目となります。

昨年は平成22年に新発見となった信春時代の仏画や、養父・長谷川宗清の基準作など、信春時代作品を中心に展示しました。

本年は昨年の展示に続かたちで、和尚の留守中に乱点した(描いた)という興味深い逸話が残る、51歳制作の圓徳院所蔵「山水図襖」32面を展示します(前・後期展示替え有り)。

また、能登時代の等伯、養父の作品や、初公開の長谷川派作品の他、等伯筆の国宝「松林図屏風」との関連が目される「月夜松林図屏風」と「複製松林図屏風」を並べて展示しますので、是非お見逃し無く!

(展示数：約20点)



重要文化財「山水図襖」(32面の内4面)  
長谷川等伯筆 京都市・圓徳院蔵



「月夜松林図屏風」(6曲1双の内左隻)



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分  
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分  
タクシー……JR七尾駅から約5分  
徒歩……JR七尾駅から約20分  
市内循環バス「まりん号」  
……JR七尾駅前「ミナ・クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車  
なおおコミュニティバスぐるっと?  
……JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

### 休館日のお知らせ

4月～6月

◆4月 16～20

◆5月 無休

◆6月 4～7, 11, 18, 25

◎次号・第70号(夏号)は7月1日発行予定です。

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台1丁目1番地  
TEL(0767)53-1500 / FAX(0767)53-6262  
<http://nanao-art-museum.jp>

石川県七尾美術館だより

第69号(春号)